

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	通信の途絶を生じさせない効果的な防災通信回線の構築		担当部局	大臣官房		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H24年度限り		担当課室	技術調査課電気通信室		室長 二階堂 義則	
会計区分	一般会計		施策名	自然災害による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する			
根拠法令(具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	防災基本計画(H20.2改定 中央防災会議) 国土交通省防災業務計画(H21.6改定)			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国土交通省が保有する各種通信回線を組み合わせることで相互バックアップ等により強靱で効率的な通信ネットワークを構築するとともに、大規模な津波により被害を受けた光ファイバ等の施工技術の改善を図ることにより大規模地震、津波災害時においても通信を確保することを目的としている。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	国土交通省が保有する光ファイバ、マイクロ回線及び衛星通信機器を活用して、災害時に、いずれかの通信手段が被害を受けても他の通信手段に自動的に切り替えて、通信を途絶させないためのバックアップ運用技術等の検討を行う。また、東日本大震災による津波で流出した光ファイバ等の通信設備の被害調査結果(別途実施)を受けて、河川・道路等における光ファイバの敷設施工技術の改善、設備耐震施工の強化方策等を検討し、施工要領等の基準改訂を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計					12
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	一定水準の防災情報伝達が可能な事務所等の数(危機管理を行っている国土交通省の河川及び道路関係事務所・都道府県(255事務所)のうち、光ファイバと接続し、マイクロ回線で自動的にバックアップされている事務所及び都道府県の割合)		成果実績	41	59	79	102
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	定量的な活動指標を示すことができない。(理由)調査・検討業務のため、事業箇所数や事業件数を計測できる内容ではない。		活動実績(当初見込み)				—
単位当たりコスト	単位当たりコストを示すことができない。(理由)調査・検討業務のため、事業箇所数や事業件数を計測できる内容ではない。		算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	災害情報整備推進調査費	—	12	—			
	計		12				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p><目的・予算の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災からの復旧・復興のため、特に緊急性・即効性が高い内容について調査を実施する。 さらに、復旧工事の各段階において、可能な内容については調査結果を随時反映し、調査結果の活用を図る。 <p><資金の流れ、費目・使途></p> <ul style="list-style-type: none"> 本省において予算を執行することとし、民間コンサルタント等から広く公募を行う。 公募の選定にあたっては第三者の有識者による外部評価を行い、費用の使途も含めて審査を行うこととする。 		
予算監視・効率化チームの所見			
		調査結果の実際の事業への活用など、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			